

「じゃらん日帰り旅行に関する調査」より、旅行者タイプを分類

旅の熟練者プロファイルリング

資源、規模、立地など、観光地によって持っている魅力はそれぞれ。他の観光地と同じターゲットを誘客しても、必ずしも当たるとは限らない。地域で個性に反応する、視野の広い旅の熟練者を狙おうべし。

イラスト/うよ高山 調査協力/ディ・プラス

地域資源に高い関心を持つ「旅の熟練者」を探せ

パーソナリティ特性に着目して分析

旅行市場の構造は、男女ともに50代までは宿泊、日帰りともに旅行回数が増え、概ね60代に入ると若干増加するというのがポイントとなっている。同様に、世帯年収が高いほど旅行回数は多いという傾向にもある。しかし、それらは大きな括りで捉えて見た場合であり、すべての人が同じような流れや条件で旅行を実施しているわけではない。

宿泊、日帰り、それぞれについて尋ねた「じゃらん日帰り旅行に関する調査」によれば、コロナ禍前(20



このような旅行実施頻度の高い人々は、どのような特性を持ち、どういう旅を好んでいるのだろうか。

旅行市場を活性化し、かつ分散化を図るためには、多様なエリアへの誘客が必要となってくる。旅が趣味と言えるほどの愛好者であれば、メジャーな観光地のみならず、まだまだマイナーな位置付けにある観光地であっても、その魅力を深掘りして出かけて行っているに違いない。

そこで、旅行回数を説明する変数がないかを試行する中で、年代層や世帯収入以外の、旅行者のパーソナリティ特性というものに着目してみることにした。注目を集め、話題と

なりやすい観光地以外にも目を向け、その地域ならではの個性に反応する旅行者とは？ その姿を浮き彫りにしていくことにしよう。

旅行頻度の高い層をあぶり出していく

パーソナリティ特性による分析を行うにあたり、9項目の質問を用意。それぞれに対して「あてはまる」「か」「あてはまらない」までの5段階評価により、まずは3つの因子を抽出することができた。提示項目に対する反応から、この3つの因子を「トレンド因子」、「知的因子」、「オリジナル因子」と名付けた(表1)。

次にこれらの3因子に対する回答をもとにクラスター分析を行い、6つのクラスターを得た。この6つのクラスターごとの因子得点は図1の通り。

※過去1年間=2020年9月~2021年8月

さらに最初の9項目の質問を、これら6つのクラスター別に集計してみたところ図2のような結果となった。

クラスター1
全項目の比率が高い。

クラスター2
すべての項目の比率が低い。

クラスター3
「行動を起こす前にじっくり慎重に検討する方だ」のみが高水準。

クラスター4
全体的に比率が低めであるが、「SNSでたくさん『いいね!』や♡、リツイートがされないと何となく物足りない」の項目が、クラスター1に次いで高い。

クラスター5
クラスター1のように、ほとんどの項目の比率が高くなっているが、特に「知識にふれて自分のモノの見方が変わる」が好きた、「行動を起こす前にじっくり慎重に検討する方だ」の2項目が高くなっている。

クラスター6
グラフ形状はクラスター5とほぼ同型で、「クラスター5」の弱含みみであると言える。

次のページからは、それぞれの詳細や実際の行動例を参考に、地域がターゲットとするべき旅行者層を探っていく。

表1 3つの因子の抽出

	因子		
	トレンド	知的	オリジナル
サイトや雑誌で紹介されたモノや場所を利用することが多い	0.834	-0.100	0.081
せっかく行動を起こすならなるべく盛りだくさんにしたい方だ	0.737	0.090	-0.070
気になるモノや場所があればすぐに行ってみる方だ	0.471	0.105	0.207
知識にふれて自分のモノの見方が変わることが好きた	0.137	0.815	-0.145
勉強することは苦にならない(少し難しい本でも読むことが苦にならない)	-0.165	0.751	0.163
自己実現やセルフブランディングは大事だと思う	0.223	0.396	0.188
行動を起こす前にじっくり慎重に検討する方だ	0.293	0.359	-0.145
SNSでたくさん『いいね!』や♡、リツイートがされないと何となく物足りない	0.004	-0.078	0.861
皆が良いと言っているモノやスポットは敢えて外す方だ	0.056	0.261	0.368

因子抽出法: 最尤法
回転法: Kaiserの正規化を伴うプロマックス法/6回の反復で回転が収束

図1 因子分析結果によるクラスターごとの因子得点

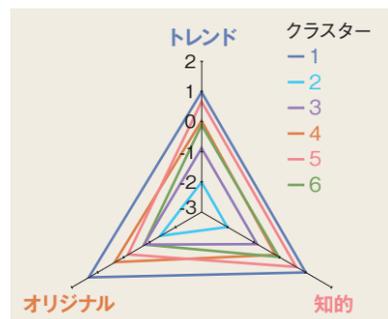
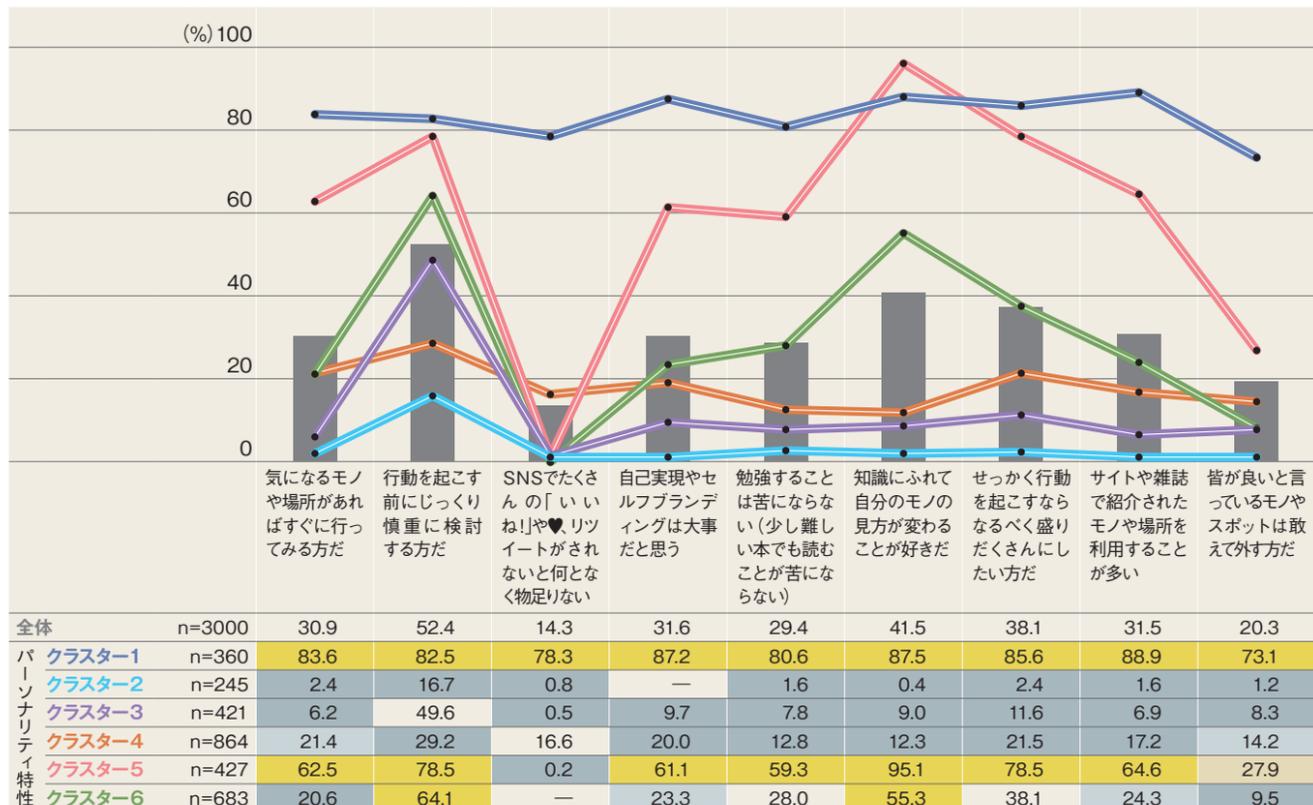


図2 パーソナリティ特性「あてはまる・計」一覧(全体/各単一回答)

以下にあげる考え方や行動について、あなた自身はどの程度あてはまりますか。



※全体値より10pt以上高い数値 ■ / 5pt以上高い数値 ■ / 5pt以上低い数値 ■ / 10pt以上低い数値 ■

調査概要

調査方法	インターネットリサーチ(株)マーケティングアプリケーションズの保有モニターを利用
調査対象	全国20歳~69歳までの3000人
回収数	3000人
有効回答数	3000人
調査時期	2021年9月10日(金)~9月15日(水)
言葉の定義	日帰り旅行/目安として片道の移動距離が80km以上または所要時間(移動時間と滞在時間の合計)が8時間以上の場合を指す 宿泊旅行/宿泊を伴う国内旅行

○上記の定量調査結果を受けて、条件に該当する人に別途定性調査を実施
調査時期: 2022年2月~5月

表2 6つのクラスターの特性一覧

	クラスター1 旅大好き層	クラスター2 別に層	クラスター3 淡々とこなす層	クラスター4 映え層	クラスター5 知的好奇心層	クラスター6 堅実体験層	
男女比 (%)	54.4 : 45.6	48.6 : 51.4	42.8 : 57.2	55.6 : 44.4	48.2 : 51.8	46.7 : 53.3	
平均年齢	37.42歳	44.83歳	48.47歳	43.01歳	43.33歳	47.99歳	
宿泊旅行実施率と平均回数	58.3% 1.54回	12.2% 0.55回	18.3% 0.52回	26.7% 0.64回	38.2% 0.88回	28.7% 0.72回	
日帰り旅行実施率と平均回数	56.1% 1.78回	7.8% 0.35回	12.4% 0.50回	22.6% 0.57回	33.7% 0.99回	17.6% 0.53回	
特性まとめ	旅行頻度が最も高く、若い世代の多い旅行ファン。年収も高めで消費金額も高い。旅行回数も群を抜いて多い。	旅行への関心が最も低い層。若干女性が多め。世帯年収は低め。	平均年齢が最も高く、女性比率も高い。世帯年収は若干低め。	2番目に若いセグメントで、男性比率が高い。オリジナル因子に対する反応が高い。年収や旅行回数は平均的。	知的因子、トレンド因子が高め。40代以下の層が若干多い。宿泊・日帰りともに旅行頻度は高い。	女性比率が高く、平均年齢はやや高め。各因子のバランスは知的好奇心層に近似している。旅行回数は少ない。	

6つのクラスター、それぞれのプロフィール

6つのクラスターのうち旅の熟練者と言えるのはどの層か。各クラスターの基本的属性、および旅に関する基礎指標を確認しネーミングを付け特徴をまとめてみた(表2)。

「旅大好き層」は3因子すべての反応が高く20代が4割、平均年齢も唯一30代と一番若く旅行頻度も高い。「別に層」は3因子すべてに反応が低く、旅行への関心も低い。旅行回数も全クラスター中、最下位。「淡々とこなす層」は「別に層」に次いで3因子への反応が低く、旅行回数も少ない。

「映え層」は「トレンド」、「オリジナル」に対する反応が高いが旅行回数は平均的。

「知的好奇心層」は「知的」への反応が相対的に高いが、その他因子への反応も低くはなく、旅行回数は「旅大好き層」に次いで多い。

「堅実体験層」は3因子への反応は中位レベルで「知的好奇心層」のポジションだが旅行回数は少ない。

以上の特徴から、「旅大好き層」と「知的好奇心層」を旅の熟練者として設定。この2つの層の行動や傾向を参考に具体的な戦略を立てていく。

熟練者たちはどのように旅を楽しんでいるのか？

調査モニターの中から、「旅大好き層」、「知的好奇心層」に該当する旅行者を選び、旅行の位置付けや情報収集などを聞き出してみた。さすが熟練者の行動はアツかった！

交流大好き。旅は弾丸派

女性●30代(1都3県在住)



「秘境など、みんなが行かないところに行きたい。こんなところあるの？と聞かれるのが好き。メジャーなところも行くけど、こんなマイナーなところも知っている自分、というのがいい」

- 美術館などよりも、絶景を見に行きたい。
- 写真をたくさん撮るので、人がいないところで自由に撮りたい。
- コロナ禍前の宿泊旅行は、海外が年に1回、国内が半年に1回という割合。
- 地方在住の友人が多いので、訪ねて行って、一緒に出かける。

旅行の決め方

- 何カ月も前から予約することはない。思い付きで、弾丸のように旅に出る。周りからも「よく旅に行っている」と思われている。
- 「温泉」、「秘境」で検索をして、気に入ったらそこへ行く具体的な計画を考える。
- 基本的に宿は泊まればいい。食べ物目当てに行くこともほぼなし。
- 旅先では宿や店のオーナーと話をしておすすめを聞く。クチコミほどいい情報はない。

最近の旅行

- 昨年のGWは弘前に桜を見に。友人から、弘前の桜がすごいと聞いたのがきっかけ。タクシーガイドがいいと聞いて、現地で利用。五能線も調べたが、行けなかった。(日帰り)
- 今年のGWは静岡の奥大井湖上駅と奥多摩へ。奥大井湖上駅はリニアが通ったらなくなると聞き(実際は勘違い)、急いで出かけた。(日帰り)

心に残った旅行

- 宮島～福岡～熊本の旅。夜行バスと新幹線で、野生のイルカも見た。

コロナ禍で旅行への影響

- コロナ禍で人が少ないからこそ行っておこうという感じで出かけた。

野宿もしちゃうワイルド系

男性●20代(1都3県在住)



「日常を忘れられる旅が好きなので、旅行は知らないところに出かける。コロナ禍の前までは、隙あらば旅に行く、という感じだった。周りからもよく旅行に行くね、と言われるほど出かけていた」

- 旅先ではよく歩く。
- 自分の中の旅のテーマの1つに「日本の先っぽシリーズ」というのがある。
- 建築学科卒なので、美術館や建築物を見るのが好き。歴史も割と好き。
- メインの目的に合わせて、その道中で色々なところ寄る。ざっくりと調べて行く。

旅行の決め方

- google mapを見るのが好きでいいと思ったら行く。ランダムに選ぶこともあれば、気になる地域やその周辺の景色や建物を見て、面白そうなら行く。
- 「日本の先っぽシリーズ」で調べていて、北海道の羅臼の大自然に注目している。
- ごはんや、人と出かける時には温泉が大切なポイントなので、google mapやnetで情報を集めておく。

最近の旅行

- 昨年10月にパートナーと2人で箱根へ。箱根は4回目。充実していて、暇になることがないエリア(宿泊)。

心に残った旅行

- 3～4年前に、鬼怒川方面へ自転車の旅。野宿をしてみようと思っ、1泊目は茨城県で野宿、2泊目は途中の宿に宿泊(鬼怒川まで山越えは無理と断念)。
- 3～4年前に原付で「金沢21世紀美術館」目的で富山と石川を周遊。

コロナ禍で旅行への影響

- 行く場所はあまり変わらないが、コロナ禍では頻度が減った。海外という選択肢がなくなったので、収まったら行きたい。

アニメ&マンガにつられてどこまでも

男性●30代(東海在住)



「アニメやマンガが好きで、縁の土地やライブを観るために旅行をする。他には歴史も好きなので、大河ドラマやゲームにちなんだ土地を訪れることもある。東海は、アニメで交友関係が広がり、転職のタイミングで移住」

- コロナ禍前は、年に3回ほど、宿泊旅行。すべてアニメ関連。
- 日帰り旅行はドライブで。
- 食べ歩き(ラーメン、餃子)、お酒(地ビール)、カメラ、サッカー観戦も旅行のきっかけになっている。
- 出張先で、その土地の食文化や名産品を掘り下げて食べたりすることもある。

旅行の決め方

- アニメ、マンガ関連や、歴史探訪がメイン。コンサートのために九州まで行くこともある。宿泊施設は寝だけの場所という感覚。値段ありきで宿泊予約サイトで探す。
- 行き先を決めてから、雑誌などを参考に予定を組んでいく。
- 宿泊旅行では、食べるお店をあらかじめ決めることはない。友人がおすすめしてくれるお店に行くこともある。
- 食べ物が起点となる日帰り旅行では、SNSなどで情報収集してから出かける。

最近の旅行

- 妻と横浜まで、声優のライブに出かけた。横浜のビジネスホテルに泊まり、東京も観光。原宿や豊洲などアニメ関連の場所へ出かけた。(宿泊)

心に残った旅行

- 山梨県へ、富士山ぐるっと一周ドライブ。吉田うどんを食べて帰ってきた。(日帰り)
- 西伊豆の恋人岬。夕陽がとってもきれいだった。(日帰り)

コロナ禍で旅行への影響

- 静岡県独自のGo To トラベルを利用。その他国内の旅行はアニメ関連で出かけている。

子どもも一緒に突撃旅!

女性●20代(1都3県在住)



「やらなければいけないことからの解放なので、楽しみなことしかない。子どもが2人いるので旅先では手がかかるが、それを上回るほど旅行することは楽しい。そろそろ行きたいな、と思ったら、旅先を探して出かける」

- 週末の宿泊旅行は年に1回。
- 日帰り旅行は毎週末のようにバイクに乗って県内(南の海の方)を回ったりしていた。SNSを通じて知り合ったツーリング仲間がいる。夫ともバイクで知り合った。
- 学生時代は海外旅行も多数(ニュージーランド、オーストラリア、カンボジア、韓国など。留学経験もあり)。

旅行の決め方

- 自分が子どもの頃から母親の運転する車で、年に複数回、全国を旅行。学校を休んで行くこともあった。
- 現在の旅先は、子どもが行ける場所を優先して選ぶため、制約あるが不満はない。
- 食べ物目当ての旅行が多い。テレビで観て、茨城にラーメンを食べに行ったり、いちご狩りに行ったり。名古屋のグルメ特集を観て、突発的に母・自分・子どもで、日帰りエビカツサンドを食べに行ったり。
- 同じ場所にリピートするより、他の場所に行きたい。
- 行く場所が決まったら、事前にたくさん調べて、ざっくりと計画する。

最近の旅行

- 「きかんしゃトーマス号」に乗るために大井川鉄道へ。(宿泊)

心に残った旅行

- 名古屋への「エビカツサンド日帰り旅行」。母と「食べたいね」という話になり車で出かけた。道中も楽しめたし、何より「名古屋日帰り」というのがぶっ飛んでいて、大好きな旅になった。(日帰り)

コロナ禍で旅行への影響

- 収まったら、国内であれば九州へ行ってみたい。行ったことがない長崎の観光スポットに興味がある。

